

消音ボックス付送風機 製品評価データシート 1【品質性能概要】 <評価基準>

項目	単位等	評価基準	事由
0.基本事項			
形式名		申請機種一覧表と適合している	評
1.適用範囲			
種類			仕
呼び番号		遠心形呼び番号2未満、斜流形呼び番号3以下	仕
温度範囲	℃	-15℃ ～ +40℃	JIS
形式条件		遠心形又は斜流形	仕
2.性能			
2.1 試験成績表	JIS B 8330(送風機の試験及び検査方法)による試験成績書を提出	提出されており、適合している	JIS
	JIS B 83466(送風機及び圧縮機騒音レベル測定法)による試験成績書を提出	提出されており、適合している	JIS
	製品試験データをデータシート2に記入	データシートに記入	
3.構造			
3.1 構造図、外形図等		JIS B 8331(多翼送風機)図.6による構造図を提出	JIS
外形図		提出 【参考】JIS B 8331(多翼送風機)の表10	評
構造図		提出 【参考】JIS B 8331(多翼送風機)の図6	評
3.2 消音ボックス			
3.2.1 ケーシング仕様			
ボックス形状		箱形又は円筒形	仕
側板材料		塗装又は防錆処理を施した鋼板	仕
防錆処理の種類			仕
側板板厚	mm	0.8mm以上	仕
内部点検の可否		内部点検可能であること	仕
3.2.2 消音内張仕様			
材料		JISA6301(吸音材料)、GW吸音ボード	仕
密度	k	40k以上	仕
厚み	mm	25mm以上	仕
飛散防止処理の有無		飛散防止処理を施していること	仕
飛散防止処理の方法		鋸、座金又は接着剤等	仕
3.3 送風機本体			
3.3.1 ケーシング			
羽根外径	mm	JIS B 8331(多翼送風機)の表3による	JIS
構造		溶接、リベット締め又は折込み加工により成形補強	仕
板厚	mm	JIS B 8331(多翼送風機)の表3による	JIS
塗装または防錆処理		塗装または防錆処理の有無	仕
防錆処理の種類			仕
3.3.2 羽根車			
主板板厚	mm	JIS B 8331(多翼送風機)の表6による	JIS
側板板厚	mm	JIS B 8331(多翼送風機)の表6による	JIS
羽根板厚	mm	JIS B 8331(多翼送風機)の表6による	JIS
釣り合いの良さの等級(JIS)		JIS B 0905(回転機械—鋼製ローターの釣り合い良さ)の参考付表1 G6.3以内	JIS
材質		鋼板(亜鉛鉄板を含む)、アルミニウム材又は合成樹脂	仕
塗装または防錆処理		塗装または防錆処理の有無	仕
防錆処理の種類			仕
3.3.3 主軸			
太さの安全率		危険速度が使用最大回転数の約1.3倍以上	JIS
危険速度	rpm		
使用最大回転数	rpm		

項 目		単位等	評 価 基 準	事由
3.3.4 軸受				
	軸受種類		原則として転がり軸受	JIS
	軸受け潤滑油補充できる構造の有		補充できる構造を有している	仕
	軸受け潤滑油種類		グリース(JIS K 2220)または同等品	JIS
	軸受け密封方式		シール軸受けまたはシールド軸受け	仕
3.6 Vベルト車	(Vベルト駆動の場合)			
	Vベルト車溝部形状の規格		JIS B 1854(一般用Vスリーブ)又はJIS B 1855(細幅Vスリーブ)による	JIS
3.7 Vベルトガード	(Vベルト駆動の場合)			
	Vベルトガードの取付の有無		取付	仕
3.8 共通ベッド				
	軸受・共通ベッドの材料種別		形鋼又は鋼板	JIS
	軸受・共通ベッドの接合加工種別		溶接加工、プレス成型及びボルト締め	JIS
4.材料			(JIS B 8331(多翼送風機)の表11による)	
4.1 ケーシング			JISG3141(冷間圧延鋼板及び鋼帯)のSPCC,SPCD、JISG3101(一般構造用圧延鋼板)のSS330、JISG3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)、JISG3111(再生鋼材)のSRB330、JISG3131(熱間圧延軟鋼板及び鋼帯)のSPHC	JIS
4.2 吸込コーン			JISG3141(冷間圧延鋼板及び鋼帯)のSPCC,SPCD、JISG3101(一般構造用圧延鋼板)のSS330、JISG3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)、JISG3131(熱間圧延軟鋼板及び鋼帯)のSPHC	JIS
4.3 羽根車主板側板及び羽根			JISG3141(冷間圧延鋼板及び鋼帯)のSPCC、JISG3101(一般構造用圧延鋼板)のSS400、JISG3131のSPHC、JISG3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)、JISH4000(アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条)合成樹脂(遠心送風機)	JIS 仕
4.4 羽根車ハブ			JISG5501(ねずみ鋳鉄品)のFC200、JISG3101(一般構造用圧延鋼板)のSS330、JISH4040(アルミニウム及びアルミニウム合金の棒及び線)、JISH4140(アルミニウム及びアルミニウム合金鍛造品)	JIS
4.5 羽根車ステア・ボルト及びナット			JISG3101(一般構造用圧延鋼板)のSS400、JISG4051(機械構造用炭素鋼鋼板)のS30C、JISG3452(配管用炭素鋼鋼管)	JIS
4.6 ベッド			JISG3101(一般構造用圧延鋼板)のSS330、JISG3350(一般構造用計量形鋼)のSSC400、JISG3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)、JISG3111(再生鋼材)のSRB330	JIS
4.7 主軸			JISG4051(機械構造用炭素鋼鋼板)のS30C以上のもの	仕
4.8 キー			JISG4051(機械構造用炭素鋼鋼板)のS45C	JIS
4.9 軸受箱			JISG5501(ねずみ鋳鉄品)のFC200	JIS
4.10 Vプーリ	(Vベルト駆動の場合)		JISG5501(ねずみ鋳鉄品)のFC200	JIS
4.11 材料証明(ミルシート)				
	本体		提出、規格に適合	評
	羽根車		提出、規格に適合	評
	主軸(電動機直動形は除く)		提出、規格に適合	評

項 目		単位等	評 価 基 準	事由
5. 電動機				
5.1 電動機の規格				
	名 称		単相誘導電動機、三相誘導電動機	仕
	規格番号		単相:JISC4203(一般用単相誘導電動機)、三相:JISC4210(一般用低圧三相かご形誘導電動機)、JISC4213(低圧三相かご形誘導電動機－低圧トップランナーモータ)	仕
	絶縁種別		製造者標準(E種、F種 等)	
5.2 保護方式				
	屋 外		JIS C 4034-5(全閉防まつ形)IP44	仕
	屋 内(多湿箇所)		JIS C 4034-5(全閉防まつ形)IP44	仕
	屋 内(その他)		JIS C 4034-5(防滴保護形)IP22	仕
5.3 電動機の仕様				
	出力範囲	kW	製造者標準	
	相・極数	Φ・P	JISC4203(一般用単相誘導電動機)、JISC4210(一般用低圧三相かご形誘導電動機)、JISC4212(高効率低相三相かご形誘導電動機)、JISC4213(低圧三相かご形誘導電動機－低圧トップランナーモータ)の規定範囲 電動機直動形の場合は4極以上	JIS
	始動方式		11kW未満:直入、11kW以上:スターデルタ等	仕
6. インバータ制御装置(可変電圧可変周波数制御装置)			特記対応	仕
	インバータ制御装置の適用の場合			仕
	1)インバータ用制御装置を設ける場合は、次の保護機能を設ける。		電流表示、過負荷及び欠相保護装置は、不要とする。	仕
	①過電流、欠相、過電圧等が発生した場合の電動機停止する保護機能		具備	仕
	②短絡により作動する保護制御機能		具備	仕
	③ストール防止機能		具備	仕
	④継電器等のコイル部のサージ対策		サージキラー等を具備	仕
	⑤制御方式		正弦波パルス幅変調方式又はパルス振幅変調方式	仕
	⑥瞬時の電圧低下対策		自動回復運転機能を具備	仕
	⑦負荷特性に合わせた加減速時間の調整		製造者にて適切に調整したもの	仕
	2)高調波対策(特記による)		特記対応とし、特記が無ければ下記(a)から(d)のいずれかによる	仕
	①高調波対策		(a)高調波対策として直流リアクトル等により、「高圧又は特別高圧で受電する需要家の高調波抑制ガイドライン」及び「高調波抑制対策技術指針((一社)日本電気協会)」による換算係数Ki=1.8以下(交流側リアクトルでKi=1.8となる対策を除く)となる対策	仕
			(b)JIS C 61000-3-2「電磁両立性 - 第3-2 部: 限度値 - 高調波電流発生限度値(1相当りの入力電流が20A 以下の機器)」が適用された機器	仕
			(c)基本波力率が1 であるときの入力力率が0.94 以上のインバータ制御装置	仕
			(d)基本波力率が1 であるときの入力力率が0.94 以上となるように、直流リアクトル等と組み合わせたインバータ制御装置	仕
	②高周波ノイズ対策用		入力側に零相リアクトル等を設ける。ただし、インバータ制御装置本体に零相リアクトル等が内蔵されているものは除く。	仕

項 目		単位等	評 価 基 準	事由
7. 塗装				
7.1 外面	外面塗装種別		種別が記入してある	仕
	外面塗装下塗り回数		回数が記入してある	仕
	外面塗装仕上げ回数		回数が記入してある	仕
7.2 内面	内面塗装種別		種別が記入してある	仕
	内面塗装下塗り回数		回数が記入してある	仕
	内面塗装仕上げ回数		回数が記入してある	仕
8. 附属品				
	相フランジ		設置(フランジ方式の場合)	仕
	1m)		設置	仕
	銘板		設置	仕
9. 銘板				
	銘板に表示する内容			
	1.製造者名		社名	承
	2.形式		製造者標準	承
	3.呼び番号	No, mm	製造者値	承
	4.製造年月		製造年月又は製造年	承
	5.製造番号		製造者標準	承
	6.風量	m ³ /h	製造者値	承
	7.静圧	Pa	製造者値	承
	8.回転数	min ⁻¹ (rpm)	製造者値	承
	9.電源	φ, V, Hz	製造者標準	承
	10.電動機出力	kW	製造者値	承
10. 提出書類の確認 (納入時)				
	承諾図		提出できること	承
	完成図		提出できること	承
	取扱説明書		提出できること	承
	試験成績書		提出できること	承
	基礎ボルト耐震計算書		提出できること	承 設
備 考				

評価基準の事由

仕 : 標準仕様書又は改修標準仕様書の規定による
 設 : 設計基準の掲載事項による
 承 : 機材承諾図様式集の掲載事項による
 評 : 評価事業による確認事項
 JIS : 日本産業規格の規定による